

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成30年度)

調査表

施設名	林業技術センター(研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場のみ)
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部 森林経営課

1 施設利用状況

指 標	H30	H29	H28	増減理由等
森の科学館入場者(単位:人)	6,961	7,774	5,283	・自主研修受入回数に増加に伴い、研修受入人数が増加。 ・宿泊を伴う受講者が減少したため、研修寮利用者が減少。
主催研修参加者(単位:人)	1,779	1,789	1,335	
自主研修受入人数(単位:人)	2,238	2,018	2,146	
研修寮利用者(単位:人)	651	1,021	1,221	
コメ	森の科学館入場者及び主催研修参加者については、昨年度と比較して若干の減少があるものの、自主研修受入人数は増加している。研修寮については、利用者の増加を図るべく、継続してPR活動を行う必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	H30	H29	H28	支 出	H30	H29	H28
指定管理料	26,300	24,288	24,288	人件費	19,743	18,641	18,672
利用料金収入	525	893	983	報償費	294	233	190
自主事業収入	2,500	3,066	3,191	旅費	183	177	245
雑収入	92	100	75	需用費	3,258	2,507	2,862
				役務費	702	700	622
				原材料費・その他	3,618	3,883	3,763
				租税公課費	1,645	1,600	1,568
				県への利用料金納付額	0	0	0
合 計(①)	29,417	28,347	28,537	合 計(②)	29,443	27,741	27,922
収支差額(①-②)	-26	606	615				
コメ	県への利用料金納付額は3年連続で0円であり、収支差額もマイナスであるため、利用料金収入や自主事業収入の改善が必要である。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成30年度に新たに取組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清 掃	日常清掃(随時)、特別清掃(年1回ワックス)
	保守・点検	遊歩道の点検(月1回)、施設内巡回(日1回以上)
	警 備	研修寮使用時夜間巡回(日3回)
	修 繕	各種用具の保守・整備(常時)
	備品等管理	備品点検(年1回)
	安全対策	安全・危機管理マニュアル整備、施設内安全点検(月1回)、消防訓練(年1回)、救急救命講習会
	その他	芝刈下刈・除草・剪定・薬剤防除・施肥実施、毎月1回朝会実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	職員接遇研修(年1回)、アンケート調査の実施(主催研修)
	イベント等ソフト面充実	年間行事案内(教育施設等各団体への働きかけ)、出前研修による施設活動のPR、HP・マスコミを利用した情報発信
	施設設備等ハード面充実	施設にちなんだクイズ等の設置、樹木名の立て札補修、遊歩道木階段の補修、身障者用トイレの補修
	その他	地域経済配慮(地元雇用 職員・作業員等臨時職員 計10名)
管理運営体制	業務に関する職員研修の実施	
コメ	施設管理等適正に実施されている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	主催研修参加者へのアンケート等
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
スタッフ対応、イベント内容等について評価が高い。	

5 総合評価

評価コメント	施設管理運営については、適正に実施されている。 森の科学館の通年開館(年末年始を除く)や研修での丁寧な説明等、県民へのサービス向上に努めている。
今後の課題と対応	3年連続して県への利用料金納付額が0円となっているため、研修寮の稼働日数を増加させる等、一層のPRを行う必要がある。